

# 八丈島 水産だより

## 6月号

### 2014



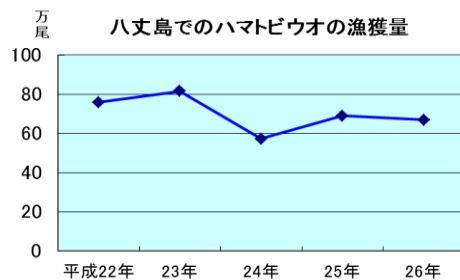
5月24・25日、港区竹芝棧橋・客船ターミナルにおいて、伊豆諸島・小笠原諸島11島が参加した「東京愛らんどフェア『島じまん2014』」が開催されました。天気にも恵まれ、来場者は10万人を超え、過去最高となりました。ステージでは、八丈太鼓など各島の郷土芸能が披露され、各島のブースには島グルメや特産品を買う人たちの長い列ができました。

八丈島のブースでも、明日葉やくさや、つくりたての漁協女性部の島寿司、ムロメンチなどが販売され、大盛況でした。

## トビウオ漁が終わりました

2月からはじまったトビウオ漁が5月下旬に終わり、約67万尾の漁獲がありました。東京都島しょ農林水産総合センター八丈事業所によると、今年は2月に八丈島の周りの水温が低かったために、トビウオ（ハマトビウオ）の群れが島周りにできず、あまり獲れませんでした。3月に入ると黒潮が八丈島に近づき、水温が上がってきたため、トビウオが多く集まり、昨年とほぼ同じくらい獲れました。

トビウオ漁が終わり、現在、ほとんどの漁師さんはキンメダイ漁などの底魚一本釣漁業を行っています。



## おつかれさまでした



東京・竹芝と伊豆諸島の間を結んでいた「かめりあ丸」が、6月に28年間の航海を終えます。八丈島には5月21日朝、最後の入港となりました。この日は神湊港（底土港）に入港、たくさんの出迎えを受け、セレモニーが行われました。6月末から新しい船が就航します。